

野沢明夫の議員報告

●事務所：〒391-0301 茅野市北山北大塩道 6891 番地 TEL0266-77-2058
Email: akky4241@po30.lcv.ne.jp FAX0266-77-2052

●茅野市議会初の「議会だより」が発行されます。議会の仕事を広く市民に分かっていただくためのものです。何もしない議員は必要ないと言われないように、議員は行政執行機関と対峙して批判監視する事が求められています。先の予算委員会では、民営化の保育園運営費に市単独の補助金を出す事が新たに決まりました。既設の民営保育園の民間事業者の運営が厳しく、赤字続きのために補助金 1000 万円を出すとの事です。例えば工事請負の業者が入札した金額ではどうも厳しそうだから、あとで余計にお金を出す事がありますか？ 民営化は公営同様にそれ以上の保育の確保が前提です。その点で民間事業者の「保育内容」が充分でないと市が判断し、補助金を出すと説明するなら分かるような気がします。5年間も運営させて6年目から補助金を出すと言うのは、そもそも当初から出さない条件下で応募し運営しているのですから、民設民営化の当初の選考要件に反します。さらにその補助金は今後民営化する「わかば保育園」や「横内保育園」の民間事業者にも支払われます。市が補助金を出すと判断した基準の詳しい説明が必要です。議会への補助金制度導入の経過説明も充分ではありませんでした。議員の行政監視の鍛錬の度合いが試される案件でした。



3月定例会の＜一般質問内容＞は次のようなものでした。

- ①「市職員技術職の育成と適正配置について」
- ②「市税収納率について」
- ③「読書活動と対比して学校教育における体育活動について」

①「市職員技術職の育成と適正配置について」

庁内の様々な技術職のうち、今回の質問の対象は、いわゆる建築・土木に関する技術者です。現状は、図書館司書が税務課や農林課や水道課にいたり、土木管理技師や測量士が子供課にいたり、保育士が建設課にいたり、保有資格を発揮できない部門に付いている人がいます。本来の資格や技術を活用しなくてはならない分野で人が充足しているなら良いのですが、もし足りないのだとしたら、適正配置とはいえないと思います。

市はどのような対応をしているのでしょうか。見てみましょう。

- ＜資格取得への支援＞業務に必要な資格や技術を取得する際に、市は各課で支援制度を設けています。民間企業でも同様ですし大いにメリットがあります。
- ＜技術職の採用＞職員採用要件に一般土木職として建築・土木関係を専攻し、一般総合職とは別枠で、採用するべく採用年齢を上げたりもしていますが、現実には人が集まらないのが現状です。去年は採用枠5人に対して応募3名採用2名、今年は3名枠に応募2名で採用2名でしたが2名とも県などに流れ、辞退されてしまいました。

ジェネラリスト（総合事務職）とスペシャリスト（技術・専門職）をどう育て配置するかは難しい問題です。市側は、ポストと給与において柔軟に対応していく考えはある

ものの、具体的にはポストを与えず給与だけ上げることは「職務給制度」が許しません。また、技術者を集中し「建築土木技術課（仮称）」のような組織を創設する事は、業務の専門性は図れますが、長期固定化するとポストの数が足りません。市側は各課の技術業務と一般事務業務の調整が必要なことから集中化は難しいといえます。

<意見> 昔に比べれば公共工事が減り、技術を生かす場面は減っていますが、それでも技術職員は不足しています。中途採用や嘱託職員、採用年齢の更なる引き上げなど方法を講じなければなりません。

②「市税収納率について」

茅野市の市税収納率は、平成21年、22年2年連続、長野県下最下位の19位です。しかしながら平成22年4月の収納課の新設に伴い、監査報告「決算審査意見書」によれば「業務改善と増収についての評価」は「その成果は絶大」と高い評価を得ています。

本年の予算における滞納繰越分に関して個人市民税は1100万UPの137%、法人市民税100万UPの200%という強気の予測設定になっています。金額的には4200万、全体の0.5%ですがその効果は大きいといえます。

市側の説明では、

- <最下位の原因>市税に占める固定資産税と都市計画税の割合は5割で、その滞納額は、滞納総額の70%を占めています。特に観光低迷で、大型ホテル・旅館などの多額の滞納が多く比重を占めている事が原因です。
- <収納方法>「お願い方収納」から「差し押さえ」への変換、徴税吏員の増員（4名）収納課新設と事務改善などで収納率は平成22年から23年にかけて上昇に転じています。組織とやり方を変えた結果が出ています。
- <検証>口座振替、特別徴収の率も上向きに転じており、コンビニに収納も郵便振替を超える比率に推移している。経費的にも有効な方法でさらに啓発していく必要があります。そのための一法として、特別徴収向上のために、入札参加したり、融資制度を利用、補助事業を受ける事業所への特別徴収の実施を要件化する事について検討し始めています。

<評価>確かに収納率は、これからも一定の成果を上げていくだろう。ただし求められるのは滞納者への厳格の中にも丁寧な相談と対応だろう。滞納整理機構への移管も行われている。その点は注意深く市民の声を聞かなくていけないと思います。

<私はこう考える>

税金が支払えない観光業界の窮状を考えると、他の業界との公平性を考慮することも大切だが、素早い税制対応は必要です。市は市内の10年以上営業する観光業者が建物の新築・増改築すると一定額を補助しているが、条件は増改築による土地建物の固定資産評価額が3割以上上がった場合に限っています。そのような多額の投資が可能な業者もおらず、また市内宿泊施設が売りに出ても固定資産税が高く売買が成立せず、新規参入の壁になっていると聞きます。市内外問わず新築、増改築対象の補助制度を、改修程度の工事まで広げることや条件を緩和する検討を始めたことは大いに評価できることです。取れない税金を「不能欠損処分」して諦める前に滞納相談で寄り添うと共に、支援制度を早急に作らなければなりません。課税そのものに踏み込むことも必要かもしれません。

③「読書活動と対比して学校教育における体育活動について」

●＜運動能力の低下＞市内の小中学校の生徒の体力や運動能力の低下は、持久力や敏捷性で顕著に見られます。文部科学省の全国的調査では「走・跳・投」といった基礎的運動能力や体をコントロールする能力が昭和60年前後をピークに著しく低下傾向にあります。転んで手をつくことができず顔や手首に怪我をしてしまう子供が増えたり、ボールを取ったり避けたりできずに顔面の怪我や眼球損傷に至ってしまうケースも増加しています。さらに運動不足や摂取する栄養過多から肥満になり高血圧や糖尿病といった生活習慣病予備軍になっている子供もいます。アレルギーや体温異常といった防衛的能力の問題をかかえているこどもも多く出現しています。

●＜低下要因＞は「基本的動作の未修得」と「運動量（歩数）の減少」を上げる事ができるといいます。様々な基本的動作を経験できる「身体活動を伴う遊び」の消失や、ひとつのスポーツのみの実施によって、動作の多様化と洗練化が共に未熟な段階で留まっていると指摘されています。運動量（歩数）を調べてみると、昭和40年代の子供の一日の平均歩数は2万歩から2万7千歩で今日の子供は、1万歩から1万3千歩と半分に減少しています。

＜参考＞山梨大学山口和彦教授は、「面白く」「のめりこむ」運動を提供する事が重要だと言っています。「学習指導要領」にいう「体づくり運動」＝「体を動かす楽しさや心地よさを味わうと共に体力を高める事ができるようにする運動」がこれに当たるのかもしれない。

＜私の提案＞「校庭を一日何周して、日本縦断する」とか「階段を上り下りして富士山やハケ岳に登るとか」「万歩計で集計し、世界旅行をする」とかの活動などどうだろう。

＜時間＞いつやるかについては、授業では体育は週2時間程度、それ以外の朝の時間や「学校の時間」で取れるのは10分から15分、継続的な活動として取り入れるにはあまりに時間がありません。

＜私はこう考える＞

あえて主題に「読書活動と対比して」と入れたかという、個人的な感想として「本ばかり読んでいていいのか？」という思いがあります。教育における「知・徳・体」の「体」が軽視されているのではないか、読書活動の振興ばかりがすすんでいないかと感じます。もちろん読書活動の素晴らしさを否定しないし、むしろ大いに評価しています。私なりの逆説的表現ですのでご理解下さい。大切なことはバランスです。限られた時間内での継続的取り組みが求められます。教育委員会の主導的な方針を示す事が求められます。

結婚支援事業「出会いの広場」から

「出会いの広場」の活動内容変更:

- ①対象者を男性38歳以上にします。
- ②男女とも登録制とします。
- ③年会費制とします。
- ④登録会員組織をつくりで自主企画も
- ⑤引き合わせや紹介に力を入れます。

「出会いの広場」役員募集

会も4年目を迎えます。結婚支援に共に活動できる方を募集しています。

お問い合わせは野沢明夫事務所までお願いいたします。

事務所連絡先：茅野市北山 6891

TEL 77-2058、FAX 77-2052

メール：akky4241@po30.lcv.ne.jp

9月議会後から現在まで

(議員活動、公職、奉仕活動、行事参加、その他の活動)
参加行事多数のため行間をつめて表示いたしました。
読みにくい点はご容赦下さい。

1月3日	身延山久遠寺参拝	23日	3月定例会開会
4日	正副議長委員長会議 新年名刺交換会 議会新年会	24日	あり方検討委員会、一般質問締切 湖東地区福祉推進委員連絡協議会
6日	市区長会・湖東区長会	25日	すわいち共催・TMOエキナカ市
8日	出初式、消防関係昼食会 成人式 新井区総会(欠)	26日	社協シンポジウム「東日本大震災」
9日	守谷弘幸様ご葬儀式	28日	豊平小学校薬物乱用防止教室
10日	議会あり方検討委員会	29日	介護保険指定事業者連絡協講演会 県・元気づくり支援金ヒアリング
14日	新井区内 どんど焼き		諏訪市議会一般質問傍聴 諏訪市議会若手議員懇談会
16日	出会いの広場の会理事会	3月2日	正副議長議運あり方検討打合会議 議案質疑・市側全員協議会 議会側全員協議会
17日	泉野小学校薬乱防教室打合せ	3日	公民館災害情報学特別講座 出会いの広場の会月例会(流会)
18日	赤沼創一様ご葬儀式	4日	樋口安正様御葬儀 ソフトテニス協会総会
19日	県議長会・茅野担当・意見交換会 有機物堆肥化研究会(欠)	6日	一般質問①日目
20日	スポーツ振興議員連盟体協懇談会	7日	一般質問②日目 ツチハシ展示会
21日	諏訪地域4ライオンズクラブ 合同新年会	8日	一般質問③日目、予算委員会補正 両角つる美様御葬儀
23日	諏訪湖浄化議連役員準備会 柿澤達郎様ご葬儀 ソフトテニス協会理事会	9日	予算決算委員会・本予算審査
24日	議会あり方検討委員会 泉野小学校薬物乱用防止教室 市建設事業団新年祝賀会 ユネスコ講演会(欠)	10日	心を結ぶ読書の集い(欠)
25日	H17,18 消防分団長もりもり会 野沢明夫 57 歳誕生日	11日	湖東地区まごころ弁当配食
26日	須栗平区新年会	12日	予算決算委員会・II
28日	湖東消防消友会	13日	特色ある学校づくり発表会(欠)
29日	松本大学地域づくり講座受講	14日	公民館利用登録団体説明会 新井営農組合準備会
31日	米沢小薬乱防教室打ち合わせ	15日	経済建設委員会 委員会慰労懇談会
2月1日	玉川小薬乱防教室打ち合わせ 堀・小平尚也様ご葬儀	16日	北部中学校卒業式 湖東消防を考える会 ユネスコ地域遺産部会(欠)
2日	平成19年当選議員懇談会一九会	17日	湖東小学校卒業式 出会いの広場月例会最終
3日	湖東消防を考える会	19日	白樺下水道組合議会
4日	～5 茅野市民号浦安柴又他	20日	陸上競技場にユルオールソ記念式 ライオンズ清掃奉仕活動 守矢神長官イベント
6日	議会あり方検討委員会 諏訪ブロック市議会研修会	21日	3月定例会閉会 退職部課長慰労会
7日	ライオンズクラブ例会入会式 商工会議所経済講演会	22日	議会あり方検討委員会 福祉推進高齢者ボランティア合同会議
8日	議会全員協議会	23日	観光協会通常総会
10日	～11日消防委員会視察研修茨城	25日	市消防団幹部会議
12日	出会いの広場バレンタインP 野沢氏子・初午会(欠)	26日	笹原・湖東保育園卒園式
13日	諏訪湖浄化対策協議会講演会 告示、一般質問受付	27日	ライオンズクラブ理事会 消防委員会
14日	米沢小学校薬物乱用防止教室	30日	茅野ソフトクラブ 理事会
15日	諏訪地域広域行政研修会 ライオンズクラブ理事会(欠)	31日	長男・長野引越し手伝い
16日	あり方検討委員会松本市議会視察	4月4日	北部中学入学式
17日	玉川小学校薬物乱用防止教室 LC50周年委員会	5日	商工会議所新入社員歓迎大会
19日	湖東区長会消防考える会説明(欠)	7日	体育協会運動公園清掃
20日	諏訪地区地域づくりフォーラム		
21日	豊平小学校薬乱防教室打ち合わせ ライオンズクラブ理事会・例会		